月　日 名前　　／100点

【答え】

# 【小4】国語 文章問題　説明文 2

つぎの文章を読んで、後の問題に答えましょう。

夏の暑い日に外を歩いていると、木のかげや建物のかげに入りたくなります。かげに入ると、同じ場所にいるのに、すっと体が楽になります。どうして、日かげはすずしく感じるのでしょうか。

日なたにいるとき、わたしたちの体には、太陽の光がじかに当たっています。光が当たると、はだやふくはあたたまります。黒いふくを着ていると、とくに熱く感じるのはそのためです。日かげに入ると、この光がさえぎられるので、体があたたまりにくくなるのです。

もう一つ、足もとにも目を向けてみましょう。日なたの地面は、一日中光を受けて、熱くなっています。熱くなった地面からは、下からも体に熱がつたわってきます。日かげの地面は光を受けていないので、日なたほど熱くなりません。だから、上からも下からも、あたたまりにくいのです。

木のかげが、とくに気持ちよく感じられるのには、べつのわけもあります。木の葉は、根からすい上げた水を、少しずつ空気の中に出しています。水が空気の中へ出ていくとき、まわりの熱をうばうので、木の近くの空気はひんやりとしてくるのです。

夏の町を歩くときは、どこにかげがあるかを気にしてみましょう。かげのつながる道をえらべば、同じ道のりでも、ずっと楽に歩けるはずです。

（この問題のための書き下ろし）

問一　日なたにいるとき、わたしたちの体には何が当たっていますか。本文から十字までで書きぬきましょう。

| 太陽の光 |
|---|
| |
| |
| |
| |
| |
| |

問二　「上からも下からも、あたたまりにくいのです」とありますが、「下から」あたたまりにくいのはなぜですか。いちばんあうものを、ア～ウから一つえらびましょう。

ア　黒いふくを着ていないから。
イ　木の葉が、水を空気の中に出しているから。
ウ　日かげの地面は光を受けていないので、日なたほど熱くならないから。

**ウ**

問三　木のかげが、とくに気持ちよく感じられるのはなぜですか。「水」「熱」という言葉を使って、四十字までで書きましょう。

| 木の葉が水を空気の中に出すとき、まわりの熱をうばい、空気がひんやりするから。 |
|---|
| |
| |

問四　最後のまとまりで、筆者は、かげのつながる道をえらぶとどうなると言っていますか。「～はずです」につづくように、本文から十五字までで書きぬきましょう。

| ずっと楽に歩ける |
|---|
| |
| |
| |
| |
| |

# 【小4】国語 文章問題　説明文 2　答えと解説

問一（二十五点）　答え：太陽の光

解説：二つ目のまとまりの「太陽の光がじかに当たっています」から。

問二（二十五点）　答え：ウ

解説：三つ目のまとまりから。下からの熱は地面からつたわる熱のこと。アは光（上から）の話、イは木のかげだけのわけなので合わない。

問三（二十五点）　答えの例：木の葉が水を空気の中に出すとき、まわりの熱をうばい、空気がひんやりするから。

解説：四つ目のまとまりから。「葉が水を出す」と「熱をうばってひんやりする」の二つが入っていれば正かい。

採点のポイント（二つそろって満点、一つなら半分）

①木の葉が水を空気の中に出している

②水が出ていくときにまわりの熱をうばい、空気がひんやりする

問四（二十五点）　答え：ずっと楽に歩ける

解説：最後のまとまりの「ずっと楽に歩けるはずです」から。